

チリ産トラウト主体に 業務用伸ばす

マルヒロ

渡辺 一弘 専務



スモークサーモンを中心とする生食用サーモン加工品の昨年売上高は前年並みの推移だった。価格が前期より落ち着くトラウト品の販売に注力。最も動く年末（11、12月）商戦も順調な実績となった。お客の理解を得ながら早期発注をもら

い、早め早めの生産に努め、労働環境の向上も図った。商品展開では、鮮度感を保つガスパック品が

原料については、今年もトラウト、ベニの良品原料にこだわっていく方針。昨年に続き、価格動向は見通しにくい。現状では引き続き、チリ産トラウトをメインにやっっていく考え。現地では高値を唱え出しており、高いことができれば、買い付けが難しくなっていることも想定される。メーカーとして、安定的な原料供給を望みたくていきたいと考えている。

